

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

SDGs

教育旅行@SAPPORO

ようこそ！ 学んで・楽しめるまち、さっぽろへ。



発行

札幌市国内観光プロモーション実行委員会

本印刷物の内容は、令和7年4月現在のものであり、変更されている場合があります。最新の情報は各施設等へご確認をお願いいたします。



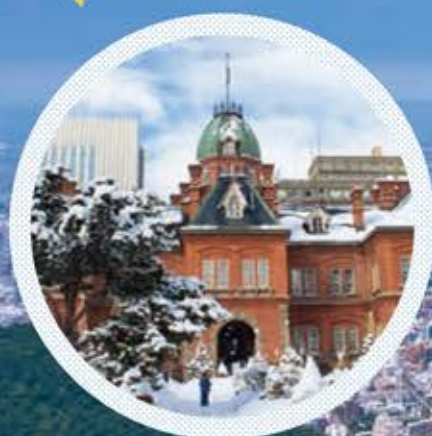
日本最北の 政令指定都市 札幌

人口は日本で5番目。(2025年4月現在)

面積は東京23区の2倍弱で、香港とほぼ同等です。

札幌市は道庁所在地として、北海道の政治、経済、文化の中心地です。

SAPPORO



札幌でSDGsを学ぶ理由

次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる
持続可能な都市を目指して

「持続可能な社会」はこれからの札幌のまちづくりにおいて、大切なキーワードです。いまの環境や社会生活がより良いものになり、それが次の世代にも続いていくことを意味しています。この「持続可能な社会」を築くためには、私たち一人ひとりが環境や社会のために行動していくことが重要なことから、札幌市は積極的にSDGsに取り組んでいます。

SDGs未来都市・札幌
寒冷地における環境都市の世界モデルに

札幌市は、環境分野をはじめとしたSDGs達成に向けた取組が評価され、2018年6月に、全国29の「SDGs未来都市」のひとつに選ばれています^{*}。SDGsに積極的に取り組むことで、日本や世界の寒冷地におけるモデルとなるまちづくりを目指しています。

※2025年4月時点で合計206都市が選定

SDGs 教育旅行 @ SAPPORO

SDGsへの取り組みについて	03
プログラムマップ	05

スタディプログラム

01 街中の水族館で考える 海の未来とSDGs	07
02 社会のジェンダー平等と一人ひとりの 生き方や性のあり方を見つめるワークショップ	08
03 モエレ沼公園で学ぶエネルギーとアート	09
04 雪かきで地域貢献!雪と暮らす豪雪都市札幌	10
05 都会の真ん中で歩くスキー体験	11
06 アイヌ文様刺繍体験	12
07 私が伝えるアイヌ文化	13
08 修学旅行でフードロス削減	14
09 北海道コカ・コーラで学ぶ水平リサイクルとアップサイクル	15
10 コンサドーレで学ぶSDGs	16
11 野外博物館北海道開拓の村でSDGsを学ぶ	17
12 八剱山果樹園でドイツ式SDGs体験ラリーと エコクラフトチームビルディングプログラム	18
13 定山渓ファームで学ぶSDGs	19
14 札幌で学ぶフェアトレードとエシカル消費	20
15 熱供給について学ぶ	21
16 異文化理解、世界を知る体験型施設/ワークショップ	22
17 北海道酪農発展の歴史から見出すSDGs	23
18 札幌芸術の森で野外彫刻鑑賞とクラフト体験	24
19 ユース世代によるSDGsに関連した取り組みとの対話	25

札幌市ってどんなところ?	26
自然・環境について知ろう	27
文化・歴史について知ろう	28
札幌市主要施設一覧	29

事前事後学習シート及び
汎用企画書もご用意しております

<https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/kyouikuryoko/kyouikuryokokyouzai.html>



※体験プログラムのお問い合わせにつきましては、各受け入れ施設へお問い合わせください。

SAPPOROの SDGsへの取り組み について知ろう

持続可能な都市を目指して



「SDGs 未来都市」「環境首都・SAPPORO」実現に向けて

札幌が目指す姿

「経済・社会・生活」に対する波及の同時実現に向けて、豊かな環境を次世代に引き継ぐと同時に、「豊かな暮らしの文化」が根付くことによる「環境首都」としての誇りの醸成や、「国内外へ魅力を発信」することによる札幌のブランド力の強化、そして「エネルギーや製品の地産地消」による北海道内の循環など、「生活」や「社会」、そして「経済」分野における効果を同時に実現した、笑顔で暮らせる持続可能な環境都市を目指しています。

札幌の将来像のイメージ



- 将来の姿を実現するための5つの柱
1. 健康で安全な環境の中で生活できる都市の実現
 2. 積雪寒冷地に適した脱炭素社会の実現
 3. 資源を持続可能に活用する循環型社会の実現
 4. 都市と自然が調和した自然共生社会の実現
 5. 環境施策の横断的・総合的な取組の推進

※「第2次札幌市環境基本計画」より

次世代の子どもたちに向けたSDGsの推進

「第2次札幌市環境基本計画」では、2030年に向けた環境保全対策を進めることで、SDGsの達成にもつなげていくこととしています。本計画では、「次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市「環境首都・SAPPORO」」を目指すべく将来像として掲げていますが、目標年度である2030年において社会を担う現在の子どもたちに対するSDGsの浸透についても積極的に取り組んでいく必要があることから、子どもたちに向けたSDGsの推進を進めています。

夏休み・冬休みエコライフレポート

札幌市内の市立小中学校の児童・生徒の皆さんに、身近なエコ行動に取り組んでもらうため、エコライフレポートの配布・提出を行っています。



環境広場さっぽろ

「みらいを想う総合環境イベント」として開催しています。環境問題の解決やSDGs達成に向けて取り組む企業・団体等による様々な展示や体験プログラムを通じて、未来を担う子どもたちの持続可能性への理解や環境意識の醸成、行動の喚起を目的としています。



12 つくる責任
つかう責任



Action 1 for Goal 12 フェアトレードタウン

毎日のお買い物から世界をかえる

フェアトレードタウンとは、市民、企業、教育機関、行政などが一体となって「まちぐるみ」でフェアトレードの輪を広げる活動を推進している自治体を認定する世界規模の仕組みです。札幌市は、2019年6月に、全国5番目の「フェアトレードタウン」に認定されました。エシカル(倫理的)な買い物の輪を広げるために、市民・企業・学校・自治体が一丸となって進めています。

食品

- ・コーヒー
- ・はちみつ
- ・野菜
- ・ワイン
- ・オイルシード・油脂果実(大豆、ごま、シアバター、オリーブオイル)
- ・紅茶
- ・カカオ(チョコレート)
- ・生鮮果物(バナナ等)
- ・穀類(キヌア、米)
- ・サトウキビ糖(砂糖、アイスクリーム)
- ・スパイス・ハーブ(コショウ、シナモン等)
- ・加工果物(ジュース、ドライフルーツ)
- ・ナッツ

食品以外

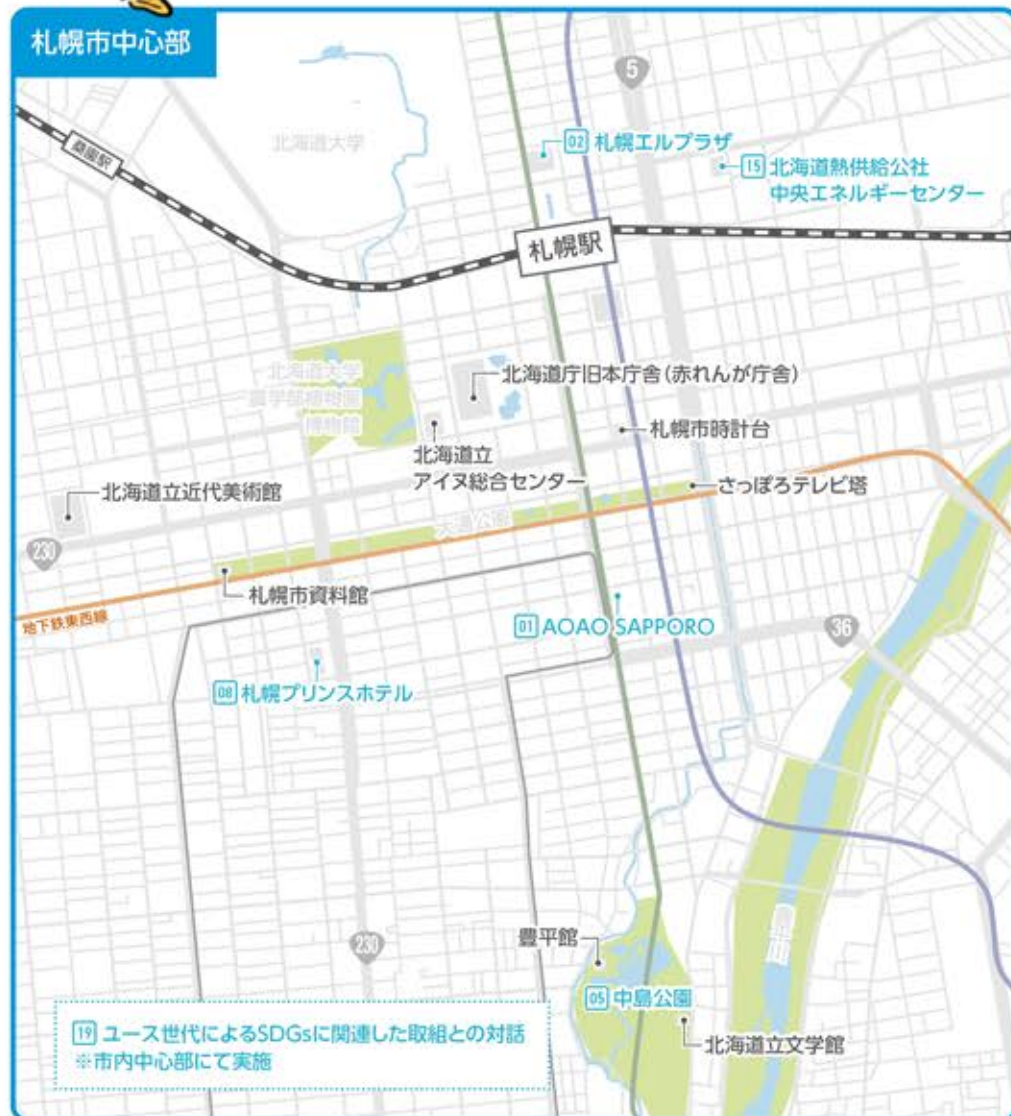
- ・コットン
- ・化粧品
- ・ゴールド・シルバー
- ・スポーツボール
- ・切花・鑑賞用植物
- ・みつろう(クレヨン、キャンドル)



フェアトレード普及啓発ポスター



Study program Map プログラムマップ



Study program. 01

街中の水族館で考える 海の未来とSDGs

ペンギンの未来は地球の未来

札幌の中心地「狸小路商店街」に面した商業施設内にある都市型水族館「AOAO SAPPORO」。当館では人工的に循環させている水環境の中で約250種の生物たちが暮らしています。このプログラムでは、水族館が取り組むSDGsに関連する取り組みなどの紹介を交えながら、ペンギンやクラゲなどの人気生物、地域の生物や無脊椎動物などの小さな生物をじっくりと観察する体験を通じて、海の未来を考え、SDGsに興味を持ったり、日々の生活に活かせることを考えてもらう機会をつくります。



キタイワトビペンギン

■ 行程

- ※開始時間ご希望により設定可
- AOAO SAPPORO 4Fエントランスに集合
- 60分 SDGs館内解説ツアー
- 30分 自由見学

■ プログラム概要

- 実施場所 AOAO SAPPORO
- 所要時間 60分
- 販売者 AOAO SAPPORO
【担当】SDGs担当
【電話】011-212-1316
【メール】contact@aoao-sapporo.blue
【受付時間】10:00～18:00
- 価格 1回/5,000円
※他に以下の入館料がかかります。
入館料/お1人様あたり
高校生1,500円、中学生700円
※15名以上の札幌市外の学校団体の場合
- 催行人数 10名～20名
- 申込期限 2か月前までに要予約

実施可能時期



通年

SDGsとの関連性

AOAO SAPPOROでは、人工海水製造機などの環境に配慮した設備を導入し、生物を飼育するバックヤードを公開するなど、人と海の関係を学べる学習環境を整えています。また、希少な生物たちの営みを観察することを通じて、生態系の大切さや、海や地球の生物の多様性を感じることができます。札幌中心に位置して、駅やホテルからもアクセスしやすい都市型水族館で、「観察する」という体験を通じて、SDGsについて能動的に学んでいただくことができます。生物たちの日中の姿だけでなく、夜の姿も両方観察できるので、夕方から夜の時間での活用もおすすめです。

コンテンツに
該当する
SDGs分野



Study program. 02

社会のジェンダー平等と一人ひとりの生き方や性のあり方をみつめるワークショップ

札幌で学ぶ多様性 誰もが生きがいと誇りを持って生きられる社会へ

札幌市は性別にかかわらず誰もが個性や能力を発揮できるジェンダー平等社会を目指し、さまざまな取り組みを行っています。ジェンダー平等に関する取り組みやLGBTフレンドリーシティ札幌には全国から注目が集まっており、普段なかなか接することのないこの問題について、専門家の講演に加え、草の根の活動を行っているNPO団体や、ダイバーシティ経営を実践している企業からのお話などをアレンジし、グループディスカッションを通して理解を深めます。



専門家の講演

■ 行程

- 45分 第1部 専門家の講演
- 30分 第2部 NPO団体や企業の講演
- 30分 グループディスカッション
- 15分 グループ毎の発表

■ プログラム概要

- 実施場所 宿泊ホテルまたは札幌エルプラザなど
- 所要時間 1～2時間
- 販売者 札幌市男女共同参画センター
【担当】事業係 【電話】011-728-1255
【メール】jigyoku@danjyo.sl-plaza.jp
- 価格 基本料金/40名以内、2時間以内 1回あたり24,000円
※40名以上の場合 10名につき2,000円追加
- 催行人数 20名～120名
- 申込期限 1か月前までに要予約

実施可能時期



通年

SDGsとの関連性

ジェンダー平等&性の多様性について、札幌・国内だけではなく、海外事例も交えたお話やグループディスカッションとすることで、SDGsに関して学ぶことが出来ます。日常では扱うきっかけがない話題のため、ジェンダー平等の活動団体や実践している企業と接することでまずはジェンダーやセクシュアリティについて自分ごとと感じてもらい、互いの個性や多様性を認め合い、誰もが生きがいと誇りを持って生きられる社会を目指します。

備考 | 第2部のスピーカーについては、札幌市男女共同参画センターが事前に学校様のニーズをお伺いした上で選定いたします。

コンテンツに
該当する
SDGs分野





Study program. 03

モエレ沼公園で学ぶエネルギーとアート

人間が傷つけた土地をアートで再生する

モエレ沼公園は「全体をひとつの彫刻作品とする」というコンセプトのもとに世界的に著名な彫刻家イサム・ノグチが基本設計し、広大な敷地内で自然とアートが融合した美しい景観を楽しむことができます。また、ゴミ処理場跡地を公園化したことや、屋内施設であるガラスのピラミッドに地域固有の自然エネルギーである雪を活用した冷房システムを導入していることから、グリーンエネルギーへの理解を深めます。

■ 行程

10分	到着後、イベントスペースへ移動
15分	映像鑑賞【モエレ沼公園について】
15分	解説【モエレ沼公園で運用している雪冷房システムについて】
10分	質疑応答
10分	雪貯蔵庫を見学
30分	館内および野外のアート作品展示見学(各自)

■ プログラム概要

● 実施場所	公園内
● 所要時間	1.5時間
● 販売者	モエレ沼公園管理事務所(公益財団法人札幌市公園緑化協会) 【電話】011-790-1231
● 価格	会場利用料として1団体あたり 午前 5,770円/午後 7,500円
● 催行人数	最大100名
● 申込期限	3月2日から次年度の申込み開始(先着順)



ガラスのピラミッド

実施可能時期



通年

SDGsとの関連性

「人間が傷つけた土地をアートで再生する」ストーリーや雪冷房システム、雪貯蔵庫の見学などにより、「エネルギー、まちづくり、環境」とアートの融合を学んでいただきます。

コンテンツに
該当する
SDGs分野



Study program. 04

雪かきで地域貢献!雪と暮らす豪雪都市札幌

雪はやっかいな存在。でも、雪が降るから札幌の冬は美しい

生徒様5名1班で札幌市内において雪かきにお困りの世帯のお手伝いをしていただきます。終了後は温かいお飲み物とおやつを食べながら地元の方とのふれあいをお楽しみいただけます。

■ 行程

60分	集合場所に到着後、オリエンテーション、終了後各世帯へ
60分	雪かき開始
30分	雪かき終了、お茶とお菓子タイム
30分	集合場所へ移動、片付け

■ プログラム概要

● 実施場所	札幌市南区など
● 所要時間	3時間
● 販売者	NPO法人森と暮らす札幌 【担当】福井 茂晴 【電話】090-6698-7966 【メール】fuchin0216@gmail.com
● 価格	お1人様あたり 1,500円
● 催行人数	最大80名
● 申込期限	3か月前までに要予約

実施可能時期



1月~3月

SDGsとの関連性

約200万人の人が暮らす札幌はひと冬で5メートルもの雪が降る豪雪都市。都市生活を維持する為に、除雪は大きな課題です。雪かきは大変な作業ですが北国で生きていくためには必要不可欠です。このプログラムを通じて、環境とまちづくり、エネルギー、健康について学んでいただきます。



雪かき作業

備考 | 全員分の長靴、軍手、除雪道具、雪かき後のお茶やおやつは受け入れ側で準備

コンテンツに
該当する
SDGs分野



Study program. 05

都会の真ん中で歩くスキー体験

都市生活と自然の共存

札幌市内中心部にある中島公園にて歩くスキーを体験いただいた後に地球温暖化の影響などSDGsに関する解説を受けます。冬季オリンピック開催都市札幌において、ノルディックスキー（歩くスキー）は子供からお年寄りまで誰もが気軽に楽しめる冬のスポーツです。このプログラムではスキー用品のレンタルに加え、経験豊富なスキーガイドが同行しますので、スキー初心者でも安心して参加できます。

行程

30分	中島公園に集合
90分	スキー用品サイズ合わせ、オリエンテーション
30分	スキーガイドと一緒に歩くスキー体験
30分	体験終了、スキー装備返却、移動
30分	SDGsに関する解説(近隣の施設にて)

プログラム概要

● 実施場所	中島公園
● 所要時間	3時間
● 販売者	株式会社サッポロスキッド 【担当】高橋 【電話】011-842-2730 【メール】info@skid-inc.co.jp
● 価格	お1人様あたり 3,300円 ※歩くスキー、ブーツ、ポールレンタル代 ※インストラクター1名につき11,000円別途 ※解説会場費別途
● 催行人数	最少20名～最大50名
● 申込期限	1か月前までに要予約 ※当日ご用意するレンタル用品のサイズをお知らせください。サイズによっては数に限りがございます。



歩くスキー

実施可能時期

冬

1月上旬～3月上旬

SDGsとの関連性

約200万人が暮らす大都会札幌には自然豊かな場所がたくさんあります。近代的なビル群を眺めながら、広大な雪原を歩くスキーで探検。こんな体験ほかでは出来ません。豊かな自然の中、すべての人が健康に住み続けられる街づくりについて学んでいただきます。

備考 ※手袋、帽子は各自持参ください ※スキーウェアは必ずしも着用しなくても構いませんが、ウィンドブレーカー(上下)など防寒対策の上、ご参加ください。

コンテンツに
該当する
SDGs分野



Study program. 06

アイヌ文様刺繍体験

自然とともに生きるアイヌの世界観を体験する

アイヌ文様は親から子へ、子から孫へと先祖代々受け継がれてきました。また、アイヌ文様は悪いものから身を守る魔除けの意味を持ちます。このプログラムでは初心者でも簡単に出来るシンプルな文様を講師とともに刺繍します。ひと針ひと針に大事な人への思いを込めて完成させていきましょう。出来上がった刺繍は額に入れてお土産として持ち帰ります。

行程

15分	講話 ○テーマ:アイヌの歴史・現在・未来・自然とともに生きるアイヌの世界観 ※質疑応答
90分	アイヌ文様刺繍体験 資料を見ながらアイヌ文様の説明 生地文様に写す(下書き) 糸を選ぶ 縫い始める 出来上がった刺繍を額に入れる
15分	後片付け、体験のまとめ

プログラム概要

● 実施場所	公共施設等(人数・日程により受入側が手配)
● 所要時間	1.5～2時間
● 販売者	株式会社プライム(札幌ウポボ保存会) 【担当】藤岡 千代美 【電話】011-823-3618 【メール】fujioaka@prime-1.com
● 価格	お1人様あたり 3,300円 ※材料費込み、別途会場費実費必要
● 催行人数	最少10名～最大80名
● 申込期限	3か月前までに要予約



アイヌ文様刺繍

実施可能時期

春 夏 秋 冬

通年

SDGsとの関連性

自然とともに生きるアイヌの世界観を体験するプログラム。人間は自然界からいろいろなものをいただいて生きている。自然と共生し、未来へと引き継いでいく。それをきちんと伝え、感じてもらいたい。クラフトワークの前の講話では、アイヌの人々への差別や偏見などについても触れる内容とし、決して過去の出来事ではない身近な問題として参加者の共感を得る内容とします。

備考 参加者10名に対し講師1名。

コンテンツに
該当する
SDGs分野



Study program. 07 私が伝えるアイヌ文化

アイヌ伝統舞踏と音楽のタベ

苦難の歴史を経て受け継がれてきたアイヌ文化を、札幌ウポポ保存会による伝統舞踏と音楽を通じて学ぶ双方向のプログラム。古くから大自然とともに生きてきたアイヌにとって、歌や踊りはカムイへの感謝や敬意を表すもの。プログラムの後半、参加者はアイヌの楽器「ムックリ」の鳴らし方を練習し、出演者と合奏・合唱を楽しみます。多様なバックグラウンドや価値観を持つ人々がお互いを尊重し、共生する未来を明確に思い描く時間とします。

■ 行程

15分	参加者入場・ムックリ配布
15分	講話 ○テーマ:アイヌの歴史・現在・未来・自然とともに生きるアイヌの世界観 ※質疑応答
45分	アイヌ伝統舞踏を鑑賞&体験(最後の輪踊りを出演者と参加者が一緒に歌いながら踊る)
15分	ムックリ鳴らし方講座
15分	ムックリ演奏(参加者と出演者のセッション)

■ プログラム概要

● 実施場所	宿泊施設宴会場など(発注者が手配)
● 所要時間	1.5時間程度
● 販売者	株式会社プライム(札幌ウポポ保存会) 【担当】藤岡 千代美 【電話】011-823-3618 【メール】fujioka@prime-1.com
● 価格	お1人様あたり 3,300円
● 催行人数	最小80名～
● 申込期限	3か月前までに要予約



トンコリ

実施可能時期



通年

SDGsとの関連性

古くから大自然の営みにカムイを見出し、いたアイヌの世界観を体感するプログラム。前段の講話では、あえてアイヌの人々への差別や偏見などについても触れる内容とし、決して過去の出来事ではない身近な問題として参加者の共感を得る内容とします。なお、ムックリは交流の思い出とともに土産物として持ち帰り、今後は参加者自身がアイヌ文化を伝える役割を担います。

備考 | 出演者(8人～10人) 楽器(保存会で準備) 音響設備(発注者が準備) ムックリ(参加者の人数分)

コンテンツに
該当する
SDGs分野



Study program. 08 修学旅行でフードロス削減

食を通じて学ぶ「私たちにできること」

札幌プリンスホテルにお泊りいただき、お食事の際にフードロスに関して学んでいただくプログラムです。ホテル担当者によるSDGs講話に加えて、捨てられる食材等を使ったメニューを実際にお召し上がりいただくことでフードロスについて深く学び、自らの行動をすぐに変えるための「きっかけ」を与えることを目的としています。また、お食事の時間を利用して旅行中の限られた時間を有効活用できます。

■ 行程

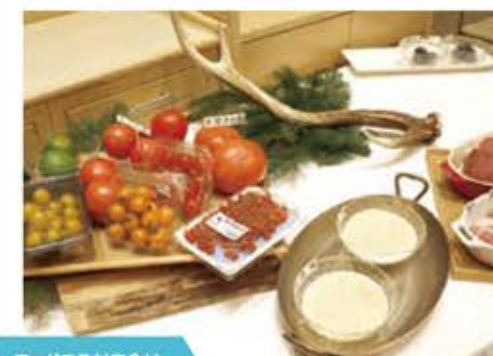
20分	ホテル担当者による講話 ○テーマ:本日のフードロス対応メニューについて ※質疑応答
40分	お食事
30分	感想発表:フードロス対応メニューを実際に食べてみて感じたこと ホテル担当者による講話 ○テーマ:ホテルにおけるその他のSDGsに関する取組について

■ プログラム概要

● 実施場所	札幌プリンスホテル
● 所要時間	1.5時間
● 販売者	札幌プリンスホテル 【担当】宿泊予約 山田 亜希子 【電話】011-241-1111 【メール】ak-yamada@princehotels.co.jp
● 価格	お1人様あたり 7,700円(夕食代含む) ※宿泊代金、朝食代金は別途
● 催行人数	最小40名～最大250名
● 申込期限	3か月前までに要予約 ※夕食付にて札幌プリンスホテルの宿泊を予約済みであることが前提となります。

備考 | メニュー内容(例)・近隣農家からの廃棄食材を利用 ・夕食、朝食で同一食材を利用 ・通常提供しない食材の端材にひと手間加えたものを利用

コンテンツに
該当する
SDGs分野



フードロス対応食材

実施可能時期



通年

SDGsとの関連性

最も生活に密着した課題とも言えるフードロスは「12. つくる責任 つかう責任」をはじめとしたSDGsの多くの目標と関連しています。次世代を担う若者がこのプログラムを通じてこれらを自分事として捉えることがSDGs達成には重要です。豊かな食材、豊かな自然を持ちながらも大都会である札幌市は、これを学ぶには最適な街です。



Study program. 09

北海道コカ・コーラで学ぶ 水平リサイクルとアップサイクル

ペットボトルとコーヒー豆から学ぶSDGs

札幌ドームより車で約10分の北海道コカ・コーラボトリング札幌本社でリサイクルとアップサイクルについて学ぶプログラムです。札幌市清田の天然水を使用した「い・ろ・は・す」から学ぶ水平リサイクル「ボトルtoボトル」の講話と、コーヒーグラウンズ(抽出後のコーヒー豆かす)を使用した石鹸作りを通してアップサイクルを学んでいただけます。また、希望校にはオプションで工場見学のご案内も可能です。

※対象:中学生以上(小学生以下のお客様は親子での参加が条件となります) ※工場見学で見学できる製造ラインはコーヒー・お茶の缶製品の製造ラインです。製造スケジュールの都合上、見学当日に製造ラインが稼働していない場合がございます。あらかじめご了承ください。

■ 行程

- 20分 担当者による講話
○テーマ:水平リサイクル「ボトルtoボトル」、コーヒーグラウンズを利用したアップサイクルについて
- 40分 石鹸作り体験
○作成物:コーヒーグラウンズを利用した石鹸、石鹸を包むためのオリジナルパッケージ
- (30分) (ご希望の場合)工場見学

■ プログラム概要

- 実施場所 北海道コカ・コーラボトリング 札幌本社
- 所要時間 1時間 ※工場見学希望の場合は1.5時間
- 販売者 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
【HP】<https://www.hokkaido.ccbc.co.jp/factory-tour>
- 価格 お1人様あたり 2,000円
- 催行人数 30名(30名以上は要相談。工場見学は30名まで)
- 申込期限 1か月前までに要予約



世界に一つだけの石鹸作り

実施可能時期



通年

SDGsとの関連性

北海道コカ・コーラボトリングは地球の限りある資源を守るためにも、回収したPETボトルを新しいPETボトルとしてリサイクルする水平リサイクル「ボトルtoボトル」や水源である白旗山での植樹による水資源保護活動など、さまざまな取り組みを行っています。このプログラムでは身近なペットボトルとコーヒーを題材としてSDGsの中でも特に「環境」について深く学んでいただけます。

備考 | 作成した石鹸は、お客様ご自身でラッピングをして原則その日にお持ち帰りいただいております。そのほか当日お持ち帰りいただけるお土産もご用意しております。

コンテンツに
該当する
SDGs分野



Study program. 10

コンサドーレで学ぶSDGs

誰もが楽しめるスポーツをコンサドーレで学ぼう!

北海道コンサドーレ札幌がさらに地域に必要とされるクラブを目指すために取り組んでいるPASS(Positive Action for Sustainable Society)の内容を学ぶことができます。コンサドーレと連携関係にあるブラインドサッカーチームのナマール北海道による指導の下、ブラインドサッカーやパラスポーツなどの体験が可能です。アイマスクをして視野が制限される相手に対してどのように声がけをすればうまく誘導できるか、相手の視点に立つことの重要性を学ぶことができます。



アイマスクを着用して体験の様子

■ 行程

- 40分 北海道コンサドーレ札幌PASS活動紹介
- 10分 移動、休憩
- 60分 ブラインドサッカー体験

■ プログラム概要

- 実施場所 札幌市内
- 所要時間 2時間
- 販売者 株式会社コンサドーレ
【担当】経営管理部 【電話】011-777-5310
【メール】consasdgs@consadole.gr.jp
- 価格 お1人様あたり 3,000円
※試合日に観戦する場合はチケット代別
- 催行人数 最大120名(要相談)
- 申込期限 2か月前までに要予約

SDGsとの関連性

北海道コンサドーレ札幌のサステナビリティに関する取り組みPASS(Positive Action for Sustainable Society)について学ぶことでスポーツとSDGsの関連を学ぶことが出来ます。クラブがより地域に必要とされるために取り組んでいる「環境」「教育」「健康」に関わる内容から世界的なスポーツであるサッカーを通じて世界の事情について関心を持つことのできる良い機会になると考えております。そして「すべての人に健康と福祉を」に加えて、北海道コンサドーレ札幌OBの指導によるブラインドサッカーで視界が制限された状態を通じて相手の立場に立ったアドバイスやコーチングをすることの重要性を体感することが出来ます。

備考 | 40名1班にて入れ替え実施。人数は要相談。イベント開催により内容が変更になる場合がございます。

コンテンツに
該当する
SDGs分野



Study program. 11

野外博物館北海道開拓の村でSDGsを学ぶ

昔の人はすごかった 今に繋がる昔の人の苦勞や強さを学ぶ

①村内ガイドツアー：地域住民であり北海道開拓当時をよく知る語り部（ボランティア）が建造物の解説や北海道の歴史についてレクチャーします。

②オリエンテーション・講義：事前に学校側と打ち合わせを行い、学習状況や講義希望内容をお聞きます。オーダーメイドの講義を実施した上で、村内見学をすることで学習効果を高めます。

■ 行程

10分	～①の場合～
80分	村内ガイドと合流し挨拶と見学の流れを確認 ガイドツアー
60分	～②の場合～
90分	オリエンテーション・講義 村内自由見学



村内ガイドツアー

実施可能時期



通年

■ プログラム概要

● 実施場所	北海道開拓の村
● 所要時間	1時間程度～1.5時間程度
● 販売者	野外博物館北海道開拓の村 【電話】011-898-2692 【メール】info@kaitaku.or.jp
● 価格	入場料が必要 ※入場料はHPでご確認ください (https://www.kaitaku.or.jp) ※ただし、教育旅行等で利用する10名以上の高校生団体、中学生以下は無料
● 催行人数	最大400名
● 申込期限	2週間前までに要予約



SDGsとの関連性

現在、北海道で快適に都市生活を送ることができるのは、開拓時代の人々の苦勞があつたこと。開拓時代のどんな状況でも決して諦めない人間の強さや営みを通じて教育、経済成長、産業と技術改革、多様性、まちづくりなどSDGsの様々な目標に関連した学習ができます。

コンテンツに
該当する
SDGs分野



Study program. 12

八剣山果樹園でドイツ式SDGs体験ラリーとエコクラフトチームビルディングプログラム

自分が取り組めるSDGsを見つけよう

八剣山果樹園をフィールドにドイツ人が理事長を務めるNPO法人がSDGs体験プログラムとして前半はSDGsラリーとアートを使ったチームビルディングプログラムを行います。グループに分かれて地図を持ち園内をめぐり、さまざまなステーションでSDGsに関するクイズ、体験、ロールプレイなど課題に取り組みます。ソーラーフッカーを使い太陽熱で料理、車椅子に乗る体験、農業や動物とのふれあい、自然エネルギーを活用した街づくりや、保存食作り、災害時に備えたシェルターテント作りなどもアレンジ可能です。後半ではSDGsをテーマにしたエコクラフトを通して、学んだことを自分で表現します。天気が悪い場合、レストラン内で活動することができます。

■ 行程

事前打ち合わせの上、学校様の希望にあったSDGsラリーの内容やチームビルディング体験プログラムの内容を組み立てます。

■ プログラム概要

● 実施場所	八剣山果樹園・NPO 法人 八剣山エコケータリング
● 所要時間	2時間程度
● 販売者	NPO法人 八剣山エコケータリング 【担当】ピアンカ フルスト 【電話】080-6060-2405 【メール】QWK10477@nifty.ne.jp
● 価格	お1人様あたり 2,500円
● 催行人数	最少20名～最大40名
● 申込期限	3か月前までに要予約



ソーラーフッカー

実施可能時期



5月～10月（※冬季要相談）

SDGsとの関連性

プログラムを通じてSDGsの知識を深めるとともにSDGsと自分の関係を考えるきっかけをつくります。またSDGsの目標に取り組むためには表現力、コミュニケーション、チームワーク、想像力が必要なことも学びます。健康、教育、防災、農業、エネルギー、環境を中心とし、SDGsの様々な目標と関連付けたプログラムにアレンジすることも可能です。

コンテンツに
該当する
SDGs分野



自然と生きること、自然に生かされていること

ツリートレッキングとジップラインで自然とともに生きる楽しみを学んでいただき、農業体験学習（いちごのランナー採り体験、果物の摘果体験など）では自然に生かされていることを学んでいただくプログラムです。

■ 行程

60分	ツリートレッキング体験、ジップライン体験
60分	農業体験学習
60分	SDGsについてスタッフより解説

■ プログラム概要

● 実施場所	定山溪ファーム
● 所要時間	2.5時間
● 販売者	定山溪ファーム 【担当】渡邊 【電話】011-598-4050 【メール】m-watanabe@hasefarm-hokkaido.co.jp
● 価格	お1人様あたり 7,000円
● 催行人数	最大60名
● 申込期限	3か月前までに要予約



ツリートレッキング

実施可能時期



6月～10月

SDGsとの関連性

自然とともに健康に生きるという観点、自然・農作物に生かされているという観点などを中心に楽しんで学んでいただけます。

備考 ツリートレッキング上級は小学生以上65歳以下の方及び身長130cm以上、体重90kg以下の方が参加対象となります。

コンテンツに
該当する
SDGs分野



考えよう！買い物の選択肢

フェアトレード、エシカル消費、SDGsをテーマとした講話後に、自身が商品を選ぶ際の行動について考えるワークショップを実施します。実際にフェアトレード商品を扱うお店「エシカル・タイム」にて商品を見ながらエシカル消費をシミュレーションします。オプションにて、フェアトレードの材料を使ったチョコレートの製作体験や、SDGsボードゲームの実施も可能です。

■ 行程

60分	【講話】フェアトレードとエシカル消費について
60分	【ワークショップ】自身が商品を選ぶ際のシミュレーションをしながら、エシカル消費について考える

■ プログラム概要

● 実施場所	エシカル・タイム円山店
● 所要時間	2時間
● 販売者	エシカル・タイム 【担当】村上 【電話】011-206-6314 【メール】info@ethicaltime.shop
● 価格	お1人様あたり 2,500円 フェアトレード商品のお土産付き
● 催行人数	10名より
● 申込期限	1か月前までに要予約 (大人数の場合は別会場を手配する為、2か月前)



(c)Ranita Roy



国際フェアトレード認証ラベル

実施可能時期



通年

SDGsとの関連性

フェアトレード、エシカル消費は商品によってSDGsの全ての目標に関連があるともいわれています。自分達がどんな商品を選択するのか、そしてその選んだ選択がSDGsのどの目標に関連をするのかをワークショップを通して考えていただきます。

備考 1時間の延長が可能な場合は、「チョコレートの製作体験」や「SDGsボードゲーム」をワークショップに追加することが可能です。別途お問い合わせください。

コンテンツに
該当する
SDGs分野



Study program. 15 熱供給について学ぶ

☑ 温まることは生きること

北海道熱供給公社中央エネルギーセンターは、札幌都心部の大気汚染問題を解決するために1971年10月に道内初の「地域熱供給」を開始した歴史のある熱供給プラントです。ホテルを始め、オフィス、病院など札幌都心エリア約80件のお客様へ高温水を供給しています。開業当初は、石炭を主燃料としていましたが、時代の変遷の中で、天然ガスへの転換、木質バイオマス燃料の導入、直近では北ガス札幌発電所からの排熱受入を開始し、更なる低炭素化に向けて環境負荷低減に取り組んでいます。プログラムではSDGsの観点でスタッフが解説を行い、実際に施設を見学いただきます。

■ 行程

30分	北海道熱供給公社および中央エネルギーセンターの解説
40分	施設見学
20分	質疑応答

■ プログラム概要

● 実施場所	北海道熱供給公社中央エネルギーセンター
● 所要時間	90分程度
● 販売者	北海道熱供給公社経営管理部 【担当】菅原 【電話】011-741-1311 【メール】daisuke.sugawara@kitagas.com
● 価格	無料
● 催行人数	最大10名
● 申込期限	3か月前



中央エネルギーセンター

実施可能時期



5月～10月（※冬季要相談）

SDGsとの関連性

中央エネルギーセンターでは熱供給の燃料として木質バイオマス（建築廃材や林地未利用材）や隣接する北ガス札幌発電所の排熱を活用し、低炭素化を図り、札幌都心部の環境負荷低減に貢献しております。

コンテンツに
該当する
SDGs分野



Study program. 16 異文化理解、世界を知る体験型施設／ワークショップ

☑ JICAで学ぶSDGs

JICA北海道（札幌）にある「ほっかいどう地球ひろば」では、JICA海外協力隊の経験を持つ案内人が施設内を紹介し、案内人による問いかけや、各国のSDGs達成状況などを見たりすることで、「世界と自分たちのつながり」や「自分たちに出来ること」をわかりやすく学ぶことができます。案内人によるクイズを交えた途上国での体験談、文化や生活習慣の違いについての話、SDGsのワークショップなど、ご希望に合わせた提案をさせていただきます。

■ 行程

80分	JICA海外協力隊体験談または各種ワークショップ
40分	ほっかいどう地球ひろば見学

※上記は一例です。ご相談ください。

■ プログラム概要

● 実施場所	JICA 北海道（札幌）ほっかいどう地球ひろば
● 所要時間	1～2時間 （平日、月～金曜10:00～17:30の間で）
● 販売者	青年海外協力協会JICA北海道担当 （JICAより開発教育支援業務受託） 【電話】011-866-1515 【メール】hokkaido@joca.or.jp
● 価格	無料
● 催行人数	最大40名（40名以上は要相談）
● 申込期限	1か月前までに要予約
● その他	〈途上国の食体験〉ウガンダ給食プログラム ○10名以上 ○1食620円 ○別途レストランカフェ「地球こうさてん」の事前予約が必要です。 【電話】011-866-8676



ほっかいどう地球ひろば

実施可能時期



通年（土日祝を除く）

SDGsとの関連性

JICAは、約半世紀の間、途上国の様々な課題の解決に取組み成果を上げてきました。今後も「人間の安全保障」の理念に基づき、これまで培った知見・経験、国内外のネットワークを生かし、SDGsに貢献します。「人間の安全保障」が目指すのは、人々を貧困や紛争、災害などの脅威から守り、一人ひとりの人間が可能性を実現する機会と選択肢を手にし、自ら脅威に対処できるようになること。そのためにJICAは、開発途上国の政府が持続的に人々を脅威から「保護」し、人々のニーズに的確に応える行政サービスが提供する体制や能力を獲得できるよう支援するとともに、人々自らが問題を解決し自立して生活を改善していけるよう、地域社会や人々の「能力強化」に努めるなど、包括的な協力を展開しています。

備考 | プログラムの内容について詳しく知りたい方は、お電話にてお問合せ、ご相談ください。

コンテンツに
該当する
SDGs分野



Study program. 17

北海道酪農発展の歴史から見出すSDGs

雪印メグミルク株式会社 酪農と乳の歴史館 札幌工場

酪農と乳の歴史館は、酪農と乳業の発展の歴史を後世に正しく伝承する目的で1977(昭和52)年に建てられました。創業以来の歴史を物語る重要な文献や貴重な資料、実際に使用されていた乳製品の製造機械を展示しています。待合室には合格祈願・必勝祈願の守り神を祀る「勝源(カツゲン)神社」を設置しています。プログラムでは北海道の酪農の発展と当社の歴史の中から、創業の理念である「健土健民」の精神が現代のSDGsの視点で見ると、どのような意味を持っているのかをご紹介します。

■ 行程

30分	酪農と乳の歴史館2階を見学
30分	札幌工場にて牛乳製造室を窓越しに見学
30分	講話 (テーマ:北海道酪農発展の歴史から見出すSDGs)

■ プログラム概要

● 実施場所	雪印メグミルク株式会社 酪農と乳の歴史館、札幌工場
● 所要時間	約90分
● 販売者	雪印メグミルク株式会社 酪農と乳(にゅう)の歴史館 【電話】011-704-2329 (平日9:00~11:30/13:00~17:00)
● 価格	無料
● 催行人数	最大30名(30名以上は要相談)
● 申込期限	見学希望日の2週間前までにお申込みください。 受付開始は見学希望日の3ヶ月前から承ります。



酪農と乳の歴史館

実施可能時期



通年(土日祝を除く)

SDGsとの関連性

明治以降の北海道酪農発展の歴史は、酪農への転換によって冷害を克服して食糧を増産し、乳製品で人々へ健康を提供することで、「2.飢餓をゼロに」「3.すべての人に健康と福祉を」などの現代のSDGsと一致します。また、「健土健民(健康な大地から生まれた健康な食糧によって健康な民族が育まれる)」そしてその具体的な実践としての酪農循環農法を知ることで、さらに北海道酪農の歴史が、「15.陸の豊かさを守ろう」の他、「1・8・9・16番」など、様々な現代のSDGsの目標にも通じていることを見出すことができます。

備考 | 見学後、常温保存可能な乳製品のお土産をご用意しております。

コンテンツに
該当する
SDGs分野



Study program. 18

札幌芸術の森で野外彫刻鑑賞とクラフト体験

芸術とものづくり体験からSDGsを考える

アートと自然の調和をテーマに1986年にオープンした札幌芸術の森。野外美術館の彫刻作品を解説付きで巡るとともに、クラフト工房でものづくりを行う、鑑賞と体験がセットとなった札幌芸術の森満喫プランです。野外美術館の7.5haの広大な敷地には、国内外の64作家74点の彫刻が四季折々に、さまざまな姿を見せてくれます。また、クラフト工房にて陶芸・テキスタイル・七宝などのものづくりを通じて“つくる”楽しさを体験いただけます。

【クラフト体験メニュー】

- 陶芸分野～たまつくり・カップ制作コース(10~96名)、絵付・小皿コース(10~96名)
 - テキスタイル分野～絞り染め・バンダナコース(10~36名)
 - 七宝分野～多色盛り・リーフペンダントコース(10~36名)
- 上記各コースを組み合わせて行うことが可能です。(陶芸分野2コースは同時開催できません。)
※クラフト体験につきましては、お申込み時に詳細をご確認ください。

■ 行程

※時間は目安です。

● 10時開始プログラム

120分	クラフト体験
20分	移動～札幌芸術の森プログラムのSDGsについて解説
60分	野外美術館でのボランティアによる彫刻作品解説と散策

● 13時開始プログラム

60分	野外美術館でのボランティアによる彫刻作品解説と散策
20分	札幌芸術の森プログラムのSDGsについて解説～移動
120分	クラフト体験

■ プログラム概要

● 実施場所	札幌芸術の森野外美術館・クラフト工房
● 所要時間	3時間程度 ※10時開始・13時開始のいずれかをお選びください。
● 販売者	札幌芸術の森 【電話】011-592-5111(代表)
● 価格	お1人様あたり 3,500円
● 催行人数	最小30名～最大168名
● 申込期限	1年前から申込開始/2ヶ月前までに要予約 ※状況によりご希望に添えない場合がございます。

備考 | ※荒天の場合は野外美術館観覧中止(クラフト体験のみに切り替え可) ※取消料/15日前～当日50%

コンテンツに
該当する
SDGs分野



福田繁雄「椅子になって休もう」

実施可能時期



4月29日～11月3日 ※土日祝を除く

SDGsとの関連性

- 野外美術館:木々がもたらす憩空間としての野外美術館の中で、樹木ひいては森林がもたらす豊かさを感じることで、森林との共存、脱炭素について考える機会とします。
- クラフト体験:体験を通じて、身のまわりのものを単に購入・消費するのではなく、生み出していくという意識を醸成し、ものを簡単に捨てない再生や再利用について考える機会とします。

※画像はイメージです

現場を知り考えるSDGsのこれから

札幌市近郊では、ユース世代(主に10~30代)が主体的に関わるSDGsに関連する取り組みが数多く実施されています。それらの団体等が会場内のテーブルごとにブースを展開。普段の活動について、活動内容・課題・動機・想い等を自身の言葉で語りながら、参加者との双方向のコミュニケーションを行います。特に実地体験の前夜等に実施することで活動への動機づけがされ、他プログラムとの組み合わせや天候や時間帯に左右されることもなく実施できる、自由度の高いSDGsについて学べるプログラムです。関連した実践プログラムも実施可能ですのでお気軽にお問い合わせください。

■ 行程

※開始時間はご希望により設定可	
会場集合	
30分	趣旨説明・自己紹介・アイスブレイク
120分	対話の場(対話15分+移動5分×2~6ローテーション)
20分	振り返り

■ プログラム概要

● 実施場所	札幌市内中心部
● 所要時間	1.5~3時間
● 販売者	NPO法人ezorock 【担当】草野・水谷 【電話】011-562-0081 【メール】info@ezorock.org
● 価格	お1人様あたり 3,500円
● 催行人数	最小10名~最大100名
● 申込期限	1か月前までに要予約

コンテンツに
該当する
SDGs分野



取り組みの紹介

実施可能時期



通年

SDGsとの関連性

札幌市近郊で実施されているSDGsに関連する取り組みの実態について学びます。学びは一方的な授業形式ではなく、双方向にコミュニケーションする対話型です。参加者に世代の近いユース世代と共に様々な切り口からSDGsについて考えることで、より自分事として自らの暮らしについて考え直します。

札幌市ってどんなところ?

広大な石狩平野の南西部に位置する札幌市は、豊平川が作った扇状地の上に発達した街です。西と南には市街地と隣接した緑豊かな山地が広がっており、札幌の街の美しい景観を作り出しています。大都市としてのビルや住宅の連なりと郊外に広がる大自然が見事に調和しているところが、多くの人を惹きつける札幌の魅力です。

Q 大きさはどのくらい?

1,121.26km²

面積は1,121.26km²で香港とほぼ同じ面積を有しています。距離は東西42.3km、南北45.4kmにわたって市域が広がり、平坦な中心部などは豊平川が形成した扇状地です。



首都圏がすっぽり収まる大きさ!



Q 人口はどのくらい?

1,965,277人

(2025年3月現在)

札幌市の人口は2008年(平成20年)8月に190万人を突破、男女比は女性の10.0人に対し男性は9.0人となっています。10代までは男性人口の方が多く、20代以降は女性人口の方が多くなる傾向があります。人口順位は5番目(2023年11月現在)。海に面していない市区町村では、日本一人口が多い都市です。

Q どんな気候、自然環境なの?

平均気温 夏は21℃ 冬は-4℃

4月から6月は晴天の日が多く、本州などに見られる梅雨の時期はありません。夏は一日の平均気温が20℃を超える日が続きます。10月には紅葉が始まり、12月上旬から降った雪が根雪となることが多いです。12月から2月の冬季は積雪寒冷を特徴としており、一冬の降雪量はおよそ5mにも達します。3月に入ると寒気も緩み、4月上旬には根雪の終日を迎えます。人口約200万人を抱える規模で豪雪地域に位置するのは、世界的に見ても珍しい大都市です。



Q 札幌の食文化の代表は?



海鮮



ラーメン



スープカレー

北海道の物流の中心である札幌には、採れたての野菜や果物、新鮮な魚が道内各地から集まり、豊かな食文化を生み出しています。ラーメン、ジンギスカン、すし・海鮮、スープカレーが有名です。

SAPPOROの 自然・環境について知ろう

豊かな自然環境に包まれた都市

知ろう! 都市と自然の調和

札幌は、冷温帯と亜寒帯の移行部分に位置し、冬季の積雪寒冷を特徴としていますが、対馬海流の分流が石狩湾を流れるため、比較的温暖な気候で鮮明な四季の移り変わりがあります。南は支笏洞爺国立公園を含む山地が広がり、市域の約6割を豊かな森林が占めているほか、北に広がる市街地に接する藻岩山・円山の原始林は国の天然記念物に指定されています。



中島公園



円山公園



大通公園

札幌の地形と地質

札幌市は石狩平野の南西部、石狩川の支流である豊平川の扇状地を中心に広がっています。東西約42km、南北約45kmにわたり、市の西部と南部の大半は手稲山・円山・藻岩山などの山岳・丘陵地帯となっています。平地部は豊平川の扇状地から石狩川下流域に広がる北部低地へと続き、その先の石狩湾に至ります。北部低地は、そのほとんどが石狩川下流域の氾濫原で、近年に至るまで水害の常襲地帯でした。またこの地域の大半は泥炭で覆われていました。



藻岩山山頂からの札幌市

雪と暮らす街、札幌

札幌の冬は、「さっぽろホワイトイルミネーション」や「さっぽろ雪まつり」など様々なイベントや、スキー・スノーボードなどのアクティビティを楽しむことが出来るとても楽しい季節です。気象状況によっては、転倒の原因となる凍結路面や車の移動が難しくなるほどの大雪などが発生します。安全・快適に過ごすための冬の服装や歩き方を学びましょう。

転ばないコツは?

横断歩道などで止まっている状態から歩き始める時や、歩いている途中で急ぎ足になったり、急に速度を遅くするなど、歩く速さを変える場合には転びやすいので注意が必要です。



さっぽろホワイトイルミネーション



さっぽろ雪まつり



スキー・スノーボード



雪道



SAPPOROの 文化・歴史について知ろう

原始の昔から育まれた人々の暮らし

知ろう! 継承されるアイヌ文化

札幌が都市として形成された過程における大きな特徴は、先住民族であるアイヌ民族が生活していたところに、本州ほかの各地からたくさんの移民が移り住み、比較的短期間で急速に都市が形作られた事です。都市や農地の開発、国の土地制度や同化政策などで、アイヌ民族の生活は大きく変えられ、多数の和人の中で差別などの苦難を経験しながらも、札幌のアイヌ民族はその尊厳と、独自の文化を今日まで伝えてきました。アイヌ古式舞踊の保護団体や、新しい鮭を迎える伝統儀式アシリチェブノミなどの儀礼を受け継ぐ人々の活動に加え、平成15年(2003年)にはアイヌ民族の伝統文化活動等の推進及び保存・継承・振興等及び市民とアイヌ民族との交流により市民理解を促進する、アイヌ文化交流センター「サッポロピリカコタン」がオープンしています。札幌には、アイヌ語に由来する地名が多くあることも知られています。アイヌ語の地名には、自然地形や地質的特徴を言い表したものが多く、当時の地形や地質を学ぶ手掛かりとなります。また、アイヌ民族が地形を含めた生活環境の中でその土地をどう名付けたかを知ることは、アイヌ民族の暮らしや文化について考えるきっかけにもなります。



アイヌ文化交流センター(サッポロピリカコタン)



北海道博物館

札幌の開拓は、日本の近代化への原動力

明治政府による北海道開拓の拠点として、現在の札幌市都心の基礎となる本府の建設が始まりました。開拓判官の島 義勇は、地形や地盤が比較的安定し、豊富な地下水を利用可能な豊平川扇状地上に、碁盤の目状に整然と区画された街区と機能別の区域分けが特徴の市街地整備計画を策定しました。また、開拓を担う人材の育成も同時に行われ、この時期に開学した「札幌農学校(現在の北海道大学)」では、新渡戸稲造や内村鑑三などが学びました。



札幌農学校第二農場

札幌市の街づくりの先駆者-島義勇

開拓の歴史を振り返ったときに欠かせない人物として佐賀藩士・島義勇がいます。島は開拓使主席判官として開拓使本府建設を立案し、札幌市の街づくりの先駆者と言われています。島は任命後、現在の北海道神宮付近の丘に上り、眼下に広がる札幌の原野をいつの日か世界一の街に、と夢を描き「他日五洲第一の都」という漢詩を残しています。札幌の町造りを始めるに当たり、現在の南1条通を創成川(大友堀)に直交させこれを基礎と決めました。札幌の基点となったのは創成橋周辺です。島の銅像は北海道神宮と札幌市役所に設置されています。夢を描いた時から150年。100万都市となった札幌市を見て何を思っているのでしょうか。



琴似屯田兵村兵屋跡

札幌市主要施設一覧



さっぽろ羊ヶ丘展望台

さっぽろ羊ヶ丘展望台は、クラーク博士像が立つ札幌の観光名所。戦前は月寒種羊場、戦後は北海道農業試験場だった国の研究施設の敷地の一部を、展望台として1959年にオープン。札幌市街地を見渡せる羊のいる牧歌的風景は全国的にも有名。

Tel.011-851-3080 ○札幌市豊平区羊ヶ丘1 ○営業時間／【10月～5月】9時～17時、【6月～9月】9時～18時 ○大人1,000円、小・中学生500円 ○地下鉄東豊線「福住」から、中央バス(福84)で「羊ヶ丘展望台」下車、すぐ ※入場は営業終了の15分前まで ※イベント開催期間中は変更となる場合があります。



北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)

北海道の象徴、「赤れんが」の愛称で知られる札幌にある煉瓦づくりの北海道庁旧本庁舎。1888年に建てられたアメリカ風ネオ・バロック様式の建築。館内では北海道の歴史をたどる資料を展示。※令和7年7月25日リニューアルオープン予定

Tel.011-204-5019(ダイヤルイン)/平日8時45分～17時30分 ○札幌市中央区北3条西6丁目 ○入場無料 ○地下鉄南北線・東豊線・JR線「さっぽろ(札幌)」下車、徒歩8分・地下鉄南北線・東西線・東豊線「大通」下車、徒歩9分



さっぽろテレビ塔

札幌の中心部を南北に分ける大通公園。その出発点、西1丁目に建つのが1956年に完成した「さっぽろテレビ塔」。札幌のランドマーク的存在で、地上約90mの展望台からは、季節ごとに表情を変える大通公園の美しい風景やイベントの様子が楽しめる。

Tel.011-241-1131 ○札幌市中央区大通西1丁目 ○営業時間／9時～22時 ○大人(高校生以上)1,000円、小・中学生500円、幼児無料※15名以上で団体割引あり ○地下鉄南北線・東西線・東豊線「大通」下車、徒歩5分 27番出入口



モエレ沼公園

モエレ沼公園は、北海道札幌市の公園。基本設計は彫刻家のイサム・ノグチ。春は桜、夏はモエレビーチ、秋は紅葉、冬はクロスカントリースキーやスノーシューと一年を通して楽しめる。最大25mまで吹き上がる海の噴水も見逃せない。

Tel.011-790-1231 ○札幌市東区モエレ沼公園1-1 ○営業時間／【東入口ゲート】7時～22時(入場は21時まで、過年)【西入口ゲート】7時～19時(4月20日～11月20日)【南入口ゲート】7時～19時(4月中旬～11月20日)※スポーツ施設の予約状況により早閉開放あり ○入場無料 ○札幌市中心部から、車で約30分・地下鉄東豊線「環状通東」から、中央バス(東69・東79)で「モエレ沼公園東口」下車、すぐ



藻岩山・札幌もいわ山ロープウェイ

藻岩山は、国の天然記念物・藻岩原生林に覆われ、展望台からは日本海石狩湾や札幌の街並みが見渡せる。かつてアイヌの聖地だった藻岩山は札幌のほぼ中央に位置し、中腹まではロープウェイが観光自動車道、山頂まではミニケーブルカーに乗車する。

Tel.011-561-8177 ○札幌市中央区伏見5丁目3-7 ○営業時間／【4月～11月】10時30分～22時【12月～3月】11時～22時 ○ロープウェイケーブルカー(展望台までの往復料金)大人2,100円、子供1,050円 ○市電「ロープウェイ入口」下車後、徒歩約10分(15分間隔で無料シャトルバスも運行しております)・地下鉄東西線「円山公園」から、JR北海道バス(循環円10・12)で「もいわ山麓」【ロープウェイ入口】下車、すぐ・登山口へは、地下鉄東西線「円山公園」から、JR北海道バス(循環円10・12)で「恵寿会前」下車



大倉山展望台

1972年の冬季オリンピック札幌大会の舞台となったスキージャンプの競技場。競技がない日は標高307mのスタート地点の展望台から、札幌の街や石狩平野の大パノラマを一望できる。冬にはスキージャンプの練習に遭遇することも。

Tel.011-641-8585(大倉山総合案内所) ○札幌市中央区宮の森1274 ○営業時間／【4月29日～10月31日】8時30分～18時(7月1日～9月30日は20時30分まで営業)【11月1日～4月28日】9時～17時 ○リフト料金／大人1,000円、小学生以下500円 ○地下鉄東西線「円山公園」から、JR北海道バス(円14)で「大倉山競技場入口」下車、徒歩10分



札幌市時計台

「札幌市時計台」その正式名称は「旧札幌農学校演武場」。北海道大学の前身である札幌農学校の施設として、初代教頭であるクラーク博士の構想に基づき明治11年に建設されました。現在は札幌市を代表する名物スポットとして、そして市民に時を告げる時計塔として愛され続けています。

Tel.011-231-0838 ○札幌市中央区北1条西2丁目 ○営業時間／8時45分～17時10分 ※入場は17時まで ○大人350円、高校生以下は無料 ○地下鉄南北線・東豊線さっぽろ駅ならびにJR札幌駅から徒歩約10分・地下鉄南北線・東西線・東豊線大通駅から徒歩約5分



札幌芸術の森

札幌芸術の森は、美術館や工房、野外ステージや音楽練習室などが揃う40haもの自然に囲まれた総合アート施設。季節の移ろいと共にアートが楽しめる「野外美術館」や制作体験が楽しめるクラフト工房の他、陶工房や木工房など各種制作を行える施設が豊かな森の中に点在。

Tel.011-592-5111 ○札幌市南区芸術の森2丁目75 ○営業時間／9時45分～17時(6月～8月は17時30分まで)※野外美術館、芸術の森美術館の入館は定額の30分前まで、野外美術館の営業期間は4月29日～11月3日 ○札幌芸術の森野外美術館 大人800円、中学生以下は無料 ○地下鉄南北線「真駒内」から、中央バス(空沼線・海野線)で「芸術の森入口」【芸術の森センター】下車、すぐ



円山動物園

1951年、北海道で初めての動物園として開園。ほ乳類、鳥類、爬虫類など動物約170種、900点を飼育しています。2018年3月にホッキョクグマ館、2019年3月にはゾウ舎がオープンし、北国ならではの生き生きと活動する動物たちに出会えます。

Tel.011-621-1426 ○札幌市中央区宮ヶ丘3番地1 ○営業時間／【3月～10月】9時30分～16時30分【11月～2月】9時30分～16時 ○第2・第4水曜日休館 ○大人800円、高校生400円、中学生以下無料 ○地下鉄東西線「円山公園」下車、徒歩15分・地下鉄東西線「円山公園」から、JR北海道バス(円15)で「動物園前」下車、徒歩1分・地下鉄東西線「円山公園」から、JR北海道バス(円14)で「総合グランド前」下車、徒歩5分



白い恋人パーク

札幌を代表する銘菓「白い恋人」の製造工程を見学できる施設やお菓子作り体験が楽しめる「白い恋人パーク」。注目は、チョコレートを愛しすぎた博士「ジュリアン・ダンディー・ノイシミティ博士」やチョコレートの妖精「ブルミとラムル」と巡るチョコレートのおいしさの秘密を知るツアーやおいしいスイーツ。

Tel.011-666-1481(白い恋人パーク総合案内) ○札幌市西区宮の沢2-2-11-36 ○営業時間／10時～17時 ○入館料／大人800円(10名以上500円)、小人(4歳～中学生)400円(10名以上300円) ○地下鉄東西線「宮の沢」下車、徒歩約7分・JR札幌駅バスターミナルから中央バス・JR北海道バス(小樽方面行)で「西町北20丁目」下車、徒歩約5分



札幌農学校第二農場

札幌農学校第二農場は、1876年、札幌農学校の開校とほぼ同時に開設された農藝園で、北海道大学農場の原型。北海道の風土にあった蕎麦のモデル農場の姿が当時のまま残されている。

Tel.011-706-2658 ○札幌市北区北18条西8丁目 ○営業時間／【4月末(GW頃)～11月3日】10時～16時 ○毎月第4月曜日休館 ○入場無料 ○地下鉄南北線「北18条」下車、徒歩5分



豊平館

豊平館は明治政府機関が建てた唯一のホテルで、明治天皇が札幌・北海道の視察に訪れた1881年に開館。日本の伝統的技術を駆使して建造された明治初期の代表的な木造洋風建築で、国指定重要文化財。

Tel.011-211-1951 ○札幌市中央区中島公園1-20 ○営業時間／9時～17時(入場は16時30分まで) ○毎月第2火曜日休館 ○個人350円、団体(20人以上)300円、中学生以下無料 ○地下鉄南北線「中島公園」下車、3番出口より徒歩5分・地下鉄南北線「観平橋」下車、1番出口より徒歩10分・市電「中島公園通」下車、徒歩5分



札幌市豊平川さけ科学館

札幌市豊平川さけ科学館は、イトウなどサケ科20種の水槽展示と、秋には屋外の観察池でサケの産卵シーンが見られる科学博物館。水質悪化によって一時閉鎖になっていた、豊平川のサケが復活したことを記念して建てられた施設。

Tel.011-582-7555 ○札幌市南区真駒内公園2-1 ○営業時間／9時15分～16時45分 ○毎週月曜日休館 ○入場無料 ○地下鉄南北線「真駒内」から、じょうてつバス(南90・南95・南96・南97・南98・環96)で「真駒内競技場前」下車、徒歩4分



札幌市資料館

札幌市資料館は、かつて控訴院だった建物を再活用した文化施設。無料で見学できる5つの展示室があり、札幌出身の漫画家、おおば比呂司の記念室には、各地の名産品パッケージで見覚えのある彼の作品が並ぶ。資料館裏の桜も密かに人気。

Tel.011-251-0731 ○札幌市中央区大通西13丁目 ○営業時間／9時～19時 ○毎週月曜日休館 ○入場無料 ○地下鉄東西線「西11丁目」下車、徒歩5分・市電「中央区役所前」【西15丁目】下車、ともに徒歩6分、中央バス・JR北海道バスで「北1条西12丁目」下車、徒歩2分



サッポロさとらんど

札幌中心部から地下鉄や車で約30分、東区丘珠にある「サッポロさとらんど」は、札幌ドーム14個分(74.3ha)もの敷地を有する入場無料の「札幌市農業体験交流施設」。広大な敷地内には花畑や農園、芝生の公園、バーベキューができる炊事広場などがあり、レジャーを通して植物や農業に親しむことができます。

Tel.011-787-0223 ○札幌市東区丘珠町584-2 ○営業時間／【4月29日～9月30日】9時～18時【10月1日～4月28日】9時～17時 ○入場無料(乗りものなどは有料) ○地下鉄東豊線「環状通東」から、中央バス(東61)【丘珠高校前】下車、徒歩10分・地下鉄東豊線「新道東」・地下鉄南北線「北34条」から、中央バス(東76)【丘珠高校】下車、徒歩10分



札幌市水道記念館

札幌市水道記念館は、参加型・体験型のアトラクションが多くあり、人と水との関わりや自然環境保護の大切さを楽しみながら学べるミュージアム。隣接する藻岩浄水場の見学ツアーでは、実稼働の浄水施設が見学できる。

Tel.011-561-8928 ○札幌市中央区伏見4丁目 ○営業時間／【4月中旬～11月中旬】9時30分～16時30分 ○毎週月曜日・冬季(11月中旬～4月中旬)休館 ○入場無料 ○地下鉄東西線「円山公園」から、JR北海道バス(環円10・循環円11)で「ロープウェイ前」・「伏見町高台」下車、徒歩10分・地下鉄南北線「真駒内」から、じょうてつバス(南4)で「ロープウェイ前」下車、徒歩10分・市電「ロープウェイ入口」下車、徒歩15分



北海道立文学館

北海道立文学館は、中島公園内にある北海道ゆかりの作家と作品に関する資料を収蔵する施設。石川啄木、有島武郎、小林多喜二、三浦綾子などの小説、エッセイ、詩、短歌、俳句をはじめ、アイヌ民族の口承文芸から児童文学までも網羅する。

Tel.011-511-7655 ○札幌市中央区中島公園1-4 ○営業時間／9時30分～17時(入館は16時30分まで) ○毎週月曜日休館 ○大人500円、高大学生250円 ○地下鉄南北線「中島公園」下車、徒歩6分・地下鉄南北線「観平橋」下車、徒歩6分



北海道立近代美術館

北海道立近代美術館は、絵画や彫刻などのパレエディーに富んだ収蔵品をあらゆる角度から展示する常設展と、国内外のユニークで多彩な作品を展示する特別展を数多く開催。北海道ゆかりの作家コレクションも見応えがある。

Tel.011-644-6881 ○札幌市中央区北1条西17丁目 ○営業時間／9時30分～17時※入場は16時30分まで ○毎週月曜日休館 ○常設展／大人510円、高大学生250円 ○地下鉄東西線「西18丁目」下車、徒歩5分・地下鉄南北線・東豊線・JR線「さっぽろ(札幌)」から、中央バス・JR北海道バス(55・57・61・快64)「道立近代美術館」下車、すぐ



北海道開拓の村

北海道開拓百年を記念して開設された野外博物館。明治～昭和初期までの北海道開拓時代の産業や生活、文化を伝える歴史的建造物を全道から移築・復元。村内を市街地・農村・山村・漁村の4エリアに分け、当時の情景も再現しているので、一歩入れば100年以上前の北海道に在る気分が味わえる。

Tel.011-898-2692 ○札幌市厚別区厚別町小野崎50-1 ○営業時間／【5月～9月】9時～17時【10月～4月】9時～16時30分 ※最終入村は開村の30分前まで ○毎週月曜日休館 ○入場料はHPでご確認ください ○JR「新札幌」駅・地下鉄東西線「新さっぽろ」駅下車、新札幌バスターミナル北1レーン10番乗場よりジェイ・アール北海道バス「開拓の村」行(約20分)終点下車



北海道立アイヌ総合センター

北海道立アイヌ総合センターは、アイヌ民族の歴史認識を深めることや文化の伝承、保存の促進を図る目的で設置された文化施設。資料展示室、図書情報資料室、保存実習室があり、アイヌ民族の歴史や生活用具、図書資料等を閲覧できる。

Tel.011-221-0462(北海道アイヌ協会) ○札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7ビル7階 ○営業時間／9時～17時 ○毎週月曜日・祝日休館 ○入場無料 ○地下鉄南北線・東豊線・JR線「さっぽろ(札幌)」下車、徒歩10分・地下鉄南北線・東西線・東豊線「大通」下車、徒歩10分



サッポロビール博物館

工場直送の生ビールと北海道名物のジンギスカンが味わえるビアホール。元製麦工場の建物を再生したサッポロビール園では、北海道限定「クラシック」や、ビール園限定「サッポロファイブスター」が味わえ、隣接する博物館ではサッポロビールの歴史が学べる。

Tel.011-748-1876 ○札幌市東区北7条東9丁目1-1 ○営業時間／11時～18時(土日・L.O.17時30分) ○入場無料 ○地下鉄東豊線「東区役所前」下車、徒歩10分・地下鉄南北線・東豊線・JR線「さっぽろ(札幌)」から、中央バス(サッポロビール園・アリオ線188)で「サッポロビール園」下車、すぐ・地下鉄南北線・東豊線・JR線「さっぽろ(札幌)」から、中央バス(環88)で「サッポロファクトリー」下車、すぐ



北海道博物館

「北海道開拓記念館」と「道立アイヌ民族文化研究センター」が統合し、2015年4月に新たにオープンした「北海道博物館」。特有の自然と歴史・文化を“見て・学び”ながら120万年前から現代までを迎えれば、誰もが新しい発見に出合えるはずだ。

Tel.011-898-0466 ○札幌市厚別区厚別町小野崎53-2 ○営業時間／【5月～9月】9時30分～17時【10月～4月】9時30分～16時30分 ○毎週月曜日休館 ○総合展示観覧料はHPでご確認ください ○地下鉄東西線・JR線「新さっぽろ(札幌)」から、JR北海道バス「開拓の村」行きで「北海道博物館」下車・JR線「森林公園」からも上記バスが経由・地下鉄東西線・JR線「新さっぽろ(札幌)」から、車で約10分